

平成 17 年度 第 4 回理事会 抄録

日 時:平成 17 年 8 月 22 日(月)PM6:30 ~

場 所:社会医学技術学院

出席者:田村、山田、大塚(三役)、河淵、富永、小林、長井(理事)、浜屋(教育部長)、丸野(財務部長)、田辺(保険部長)、田中(福祉用具委員長)、米本(事務局長)

【 報告事項 】

1. 事務局

- 1)群馬県士会より福利厚生部の業務内容についての質問 都士会には福利厚生部は存在しないと返答
- 2)つくば学会での公開シンポジウムにて、生活支援の場で働く OT が少ないという話題があり、それを受けて涼風苑の浅野氏から、都士会ニュースに「日本住宅ケア教育研究所」の紹介の掲載依頼内容を検討後、掲載

2. 各部委員会

1)教育部

・研修報告

8 月 5 日老年期研修「協会版認知症アセスメント」

56 名参加

8 月 20 ~ 21 日新人教育プログラム 90 名参加

申し込み時点で症例発表希望者がゼロ

新入会員向けに、生涯教育制度の流れを説明する機会必要。今後、症例研究にどれくらいの枠が必要となるか、対象者数の概算を知りたい。個人情報保護法に関する勉強会も必要となってくる

・研修計画

8 月 27 日 新人教育プログラム

12 月 16 ~ 17 日 身障現職者研修(首都大学東京)

2)福祉用具委員会

・HCR2005 来訪者の質問へは、その場で回答できない場合、承諾書(都士会長印と公印押印)をいただいた上で連絡先を聞き、後日連絡する。

承認

・NPO 法人日本シーティングコンサルタント協会との協力について都士会に一本化していく方向で検討している。

3)広報部

9 / 28(日)日本リハビリテーション専門学校にて、作業療法推進活動として作業療法説明会を実施予定。

4)財務部

9 / 20 中間監査のための締めを行なう予定。補正予算を 20 日までに提出して欲しい。

5)保険部

10 月号のニュースまでに、調査のことを詰めていく

6)実務者研修会(倫理)報告

倫理問題事案の取り扱いの流れについて説明

県士会で対応した問題を OT 協会倫理委員会に報告することにより、事例を集め啓発していくことになる

【 検討事項 】

1. 法人化

来月理事会後に登記を行なう、理事は印鑑持参 承認

2. 都士会学会

テーマ『支える』

・特別講演：実行委員会にて検討していく

・シンポジウム：板橋近隣で地域生活を支えている施設（3分野）に声をかけていく。

・一般演題：都士会ニュースや HP に募集要項掲載、経験年数の短い人の参加を積極的に促していく。

・新人教育の症例発表も同時に開催予定 継続審議

3. 40周年記念式典について

・都士会は受付対応の役割。20名必要。理事や部長、養成校の教員を中心に手伝いを募っていく。

・手伝いに来る人へ交通費の補助等は必要。

・記念式典に限らず、各部委員会等の都士会活動での、交通費や食費、謝礼などの枠組みを明確にする必要がある。

・参加者および手伝いの方には、都士会から委嘱状

を出す。都士会から交通費 + 5000 円の助成、前納方法については、次回までに検討する。

継続審議

4. ホームページの運用について

・都士会ホームページ改編について

各部委員会にページの割り振りをし、クリックすると PDF におとした原稿に飛べるようにする。

・外部から次々に流れてくるニュースがあるが、今のシステムではそこにリンクさせることができず、アドレスしか載せられない。全部のニュースを PDF におとすのは大変な手間。

・システムの検討をしていく。

・都士会学会は独自にページを作る予定。

他にも、研修会はトップページに案内を移し見やすいように工夫する。また、検索サイトへの登録も進める。掲示板形式にすることなども業者に委託すれば可能で、広報部担当者と検討しているので、いずれ理事会で説明していきたい

・ホームページに関する要望等を、各部委員会でも検討して欲しい。 継続審議

5. 団体認定（生涯教育制度）

・日本集団精神療法学会、メンタルケア協議会、日本総合病院精神医学会、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の4団体について認定の可否を。

・独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構については、一般向けのセミナーもあるので研修内容を確認の上で認定する。 承認

6. その他

- ・事務局にブロードバンド環境を設置して欲しい。見積もりを取って次回理事会に報告する。

継続審議